



令和6年度を振り返って・・・

校長 飯窪美紀子

今年度も残すところわずかとなりました。小・中学部、高等部・分教室の卒業式も近づいてきました。卒業生の皆さんがこれまで築いてきたこと、学んできたことは、これからのステージで頑張れる大きな力になります。新たな環境でも、自分のペースで一步步歩いてほしいと願っています。

さて、今年度は教育課程を改善し「教育の質の向上」を目指して、教育活動を進めてきました。保護者の方や地域の皆様に支えられ、新たな取り組みがたくさんできたと思っています。例えば、小学部は近隣の夢の丘小学校に行き、校庭の遊具で遊ぶことを始めました。次のステップは小学校の子どもたちと一緒に校庭で遊んでいる姿を目指していきたいです。また、麻溝公民館では「てぶくろの会」の皆さんに読み聞かせをしていただきました。子どもたちの笑顔が地域の皆さんの笑顔につながり、お互いを相知合う関係性作りができています。高等部の職業の授業では、原当麻駅近く線路沿いのフェンスの草取りを定期的に行いました。麻溝地区まちづくり会議の中で報告したところ、感謝の言葉をいただきました。地域の皆さんから「いつもありがとう」と言葉をかけてもらえるように、そして、お互いが顔の見える関係を作っていけるとよいと思っています。他にも様々な教育活動を通じ、地域へ一歩踏み出した一年でした。地域の皆さんと一緒に進めた教育活動が、子どもたちの達成感につながっていることを私たち教職員も実感しています。

令和7年度は、いよいよ創立50周年の節目の年になります。さらに次の一歩を踏み出し、2歩目3歩目が子どもたちの笑顔があふれる学校となるよう、取り組んでいきたいと思っています。

卒業式を迎えて

入学時は4人だったこの学年、3人のパワフルな仲間も加わり、今、卒業という大きな一歩を踏み出そうとしています。6年生の1学期、それぞれ好きなことをやったり、自分のペースで教室移動をしたり、友だちとの関わりが少ないなと感じていました。2学期、小6二大イベントの一つ、修学旅行がありました。1泊2日の旅を終えてから、徐々にクラスに変化が・・・友だちのそばに行き顔を見合わせ笑ったり、友だちの持っている物ややっていることに興味をもったり、友だちを意識している様子や友だちと楽しく過ごす時間が多く見られるようになりました。3学期、卒業に向けてみんなで並んで歩く練習を始めました！今では、並び順もバッチリ◎友だちを待ったり気にして振り返ったりもできるようになっています。みんなで一緒に過ごした日々により「絆」が生まれた6年生、小6二大イベントのラストは卒業式！！心も体も成長した1年間をみんなで振り返りながら、卒業に向けて絶賛準備中です♪

(小学部6年 担任)

寒さも少しずつ落ち着き、春の訪れを日に日に感じ始めるとともに、「卒業」が近づきどこか嬉しくもあり、寂しくもあるものを感じるようになってきました。

入学した時からたくさんの経験を積み、身体も心も大きくなりました。自分でできることが増えたり、新しいことや自分の気持ちが向かないことにもチャレンジしたりと、ひたむきに頑張ってきた7人の姿はとても輝いていました。

先日、美術では7人みんなで大きな“夢”の一字を1本の特大筆(モツ)で書きました。これからの高等部での新しい生活の中でも一人ではどうしようもできないことにも当たる時が来るかもしれません。そんな時はこの一つの“夢”を皆で書き上げたように、仲間や周りで支えてくれる人たちと助け合いながら、乗り越え、7人らしい素敵な道・夢を切り拓いてほしいと思います。(中学部3年 担任)



3月13日の木曜日、高等部生活3年間の集大成である、卒業式が執り行われます。この日のために、生徒たちは毎日練習に励んできました。

3年前、生徒たちは高等部での生活に楽しみや不安を抱えながら、緊張した面持ちで入学しました。そんな生徒たちがこの3年間で学習を積み重ね、様々な経験をしてきたことで、今では高等部を引っ張る存在となりました。

これから生徒たちは、社会人として大きな世界へ羽ばたいていきます。それぞれの道で、辛いことに直面することもあると思います。その時は高等部で過ごした3年間の思い出、自分のペースで乗り越えてほしいと思います。生徒たちの未来が明るいものになるよう、職員一同応援しています。(高等部3年 担任)

いよいよ卒業式が近づいてきました。入学当初は学校が苦手な休みがちだった人、友だちとの会話がうまくできなかった人、いろいろな背景のある15人が集まりました。みんなはクラスを居心地の良い場所に作り上げてきました。ある生徒が印象的な話をしてくれました。「中学校の時はクラスの人が怖くて、ほとんど誰ともしゃべらなかった。この学校に入って、みんなが優しいことにびっくりした。」

安心できる場で信頼できる仲間と過ごしたかけがえのない時間。これからそれぞれが新たな人生をスタートさせます。つまりくこともあるかもしれませんが、みんなで過ごした日々は生きる力となるはずです。それぞれの場で大きく羽ばたくことを願っています。(分教室3年 担任)

未来に向けて

7名の1年生が入学した4月からはや1年が経とうとしています。1年生は何もかもはじめての経験でしたが「アクセル」全開で前に進みました。2年生はさわやかな「そよかぜ」を感じながら三川公園に行ってきました。落ち葉を着た自分を背負った3年生は校内を練り歩く姿が「カーニバル」のようでした。4年生の教室は様々な音楽がかかっている、みんな「ハーモニー」を楽しみリラックスしていました。5年生は宿泊学習の夜の集いで「きらきら」を楽しみました。6年生の7名は卒業です。小学部で培った土台を中学部でさらに「ぐんぐん」高くしていってくれることを期待しています。1年間、子どもたちは毎日元気にいろいろなことに挑戦し、頑張りました!(囲み文字は、実は学年通信のタイトルです。)(小学部 学部長)

4月に中学部長として初めて皆さんにお会いしたときは、体が小さく・新しい学年に不安そうな表情をしていたことをよく覚えています。夏休みが終わり冬が近づくころには体が大きくなり、教室や体育館での学習にとっても意欲的になり、大きくなったなあ…と思うようになりました。1年生は中学部の学習に慣れ、2年生は宿泊学習や校外学習などの新しい学習にどんどんチャレンジし、3年生は修学旅行や高等部入選などの行事の一つひとつ確実に取り組みましたね。また、4月が来ます。新しい学年に進んでも、元気が一番です。早寝・早起き・朝ご飯の習慣を今後も続けて、元気に過ごしていきましょう。

「今日一日、楽しかったな〜。明日もきっと楽しいよ」と下校の時に思っしてほしいです。そして、これからも学校で会えることを楽しみにしています。(中学部 学部長)

JR相模線原当麻駅は、高等部の生徒が毎日通学で利用している場所です。今年度、高等部では、地域との協働の一環として、新たに学校周辺の美化活動に取り組みました。具体的には、職業班の生徒が、原当麻駅西口側の線路沿いの通学路の草取りやゴミ拾いを行い、線路と道路を隔てる金網の周辺が大変きれいになりました。

手押し車に作業用の用具や清掃中の看板を積み、原当麻駅周辺で通行される方や自動車に注意しながら、1時間程度の作業に集中して取り組みました。お礼と励ましのお言葉を駅員さんやご近所の方からいただくことができ、作業に参加した生徒にとっても地域のために頑張ったという達成感を味わうことができたひとときとなりました。(高等部 学部長)

橋本分教室は、平成18年に橋本高校内に設置され、今年度で19年目を迎えました。この3月に3年生15名が卒業しますが、すでに約230名の生徒が分教室を巣立ち、それぞれの道で活躍しています。先日も分教室の卒業生を迎え、職業講話「卒業生のお話を聞く会」を行いました。自分たちの先輩方が卒業後にどのように働いたり、生活していたりするのかを知ることができ、とても有意義な時間になったと思います。

話は変わりますが、橋本分教室では、毎週金曜日「職業」の授業で、卒業後の社会生活に向けて、図書館や高齢者介護施設、公園、小学校などへ出向いて社会体験(作業)を行っています。また橋本高校や地域の企業等から依頼を受けて、校内で解体分別作業や清掃活動、スイーツやコーヒーのサービスをしています。はじめは慣れない環境で初めて触る道具に戸惑っていた生徒も、今では率先して作業を行っています。生徒も、直接様々な地域の方々と関わったり、責任ある仕事を任されたりすることで、働く意欲や地域に貢献する喜びも感じていると思います。

橋本分教室では、これまでも地域の皆さんに支えられながらいろいろな社会体験を行ってきました。そして微力ながら地域にも貢献してきたと思っています。これからも引き続き地域の皆さんとの関わりを大切にしながら、地域とともに学ぶ関係を作っていきたいと思っています。(分教室 室長)

